

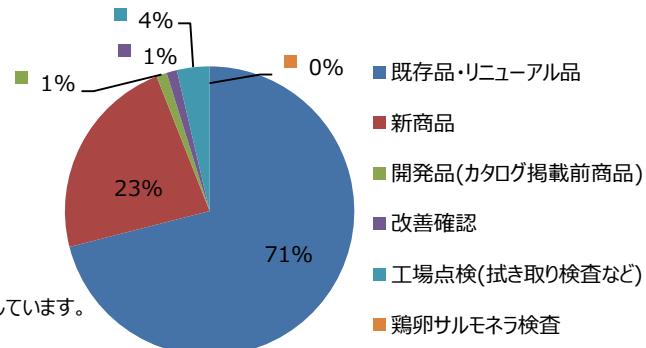
2018年度検査結果(2018年5月更新・累計)

微生物検査

一般生菌、大腸菌群、大腸菌、真菌等の衛生指標菌および、黄色ブドウ球菌、腸炎ビブリオ、サルモネラ、セレウス等の食中毒菌を検査し、食品の腐敗・変敗、食中毒を防止するとともに、食品製造現場における衛生管理向上に役立てます。

検査対象品	検体数
既存品・リニューアル品	916
新商品	297
開発品(カタログ掲載前商品)	15
改善確認	15
工場点検(拭き取り検査など)	47
鶏卵サルモネラ検査	0
合計	1,290

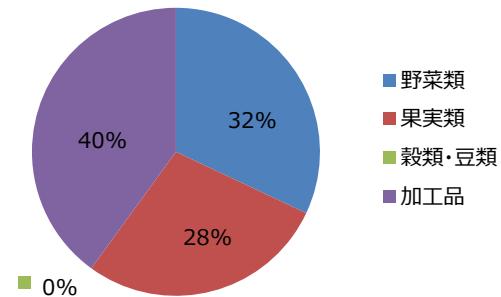
※鶏卵サルモネラ検査は、卵殻と卵内容について外部委託機関にて実施しています。
年に4回、全産地・全種類のたまごを対象に行っています。



残留薬剤検査

人や環境に対する毒性の強い農薬等の化学物質403成分について、一斉分析を行っています。産地での使用状況、残留事例、農薬の流通量等、その他さまざまな情報を参考に、検査する薬剤を決めています。

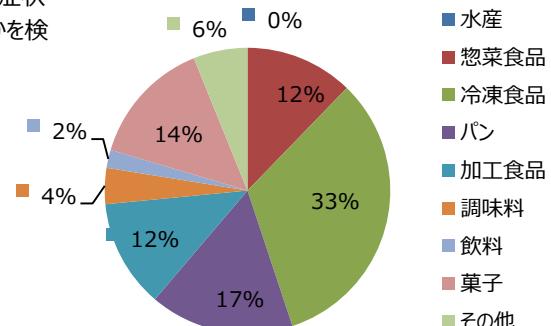
検査分類	検体数	検査成分数
直品	野菜類	16
	果実類	14
	穀類・豆類	0
加工品	20	7,888
合計	50	19,657



アレルゲン検査

加工品について、食物アレルギーを引き起こす食品のうち、症例が多いまたは症状が重篤な卵・乳・小麦・そば・落花生・甲殻類（えび・かに）が含まれているかを検査し、原材料表示およびコントラクト表示の適正確認を行っています。

検査商品分類	検体数	検査商品分類	検体数
水産	0	調味料	2
惣菜食品	6	飲料	1
冷凍食品	16	菓子	7
パン	8	その他	3
加工食品	6		
合計	49		



その他の検査

	鶏卵	ヒスタミン	食品添加物	動物薬	一般成分	米品種	GMO	合計
検体数	58	7	0	0	0	0	1	66
検査項目数	290	7	0	0	0	0	1	298

※鶏卵検査、ヒスタミン検査は商品検査センターにて検査を実施。その他の検査は外部委託機関にて検査を実施。

- **鶏卵検査**：卵重、卵殻強度、卵殻厚、卵黄色、鮮度の指標となるハウユニット(卵白高)を測定することで品質管理を行っています。1ヶ月に1度の頻度で全産地・全種類のたまごを対象に行っています。
- **ヒスタミン検査**：生魚(鮮魚、冷凍魚肉)や、その加工品のヒスタミン濃度を測定して品質管理を行っています。夏場を中心にサバ、カジキ、マグロ等について実施しています。
- **食品添加物検査**：保存料、発色剤について使用がないかを確認します。ハム・ソーセージ類について実施しています。
- **動物薬検査**：動物用医薬品や飼料添加物について残留がないかを確認します。たまご・肉類について実施しています。
- **一般成分検査**：油脂の劣化を評価するために指標となる「酸価」「過酸化物価」を測定します。油脂で処理した食品や油脂分を多く含む食品(主に菓子類)について実施しています。
- **米品種確認検査(米DNA検査)**：米について、他品種の混入の有無があるかの定性検査を行い、表示の適正確認を実施しています。
- **GMO検査(遺伝子組み換え体含有検査)**：遺伝子組み換え作物の混入の有無を検査します。主に大豆、菜種を原料とする加工品について実施しています。